

My country has a lot of traditional culture.

南魚沼市立八海中学校

三年 水澤 綾 乃

「Tell me about the traditional culture of your country.」

私が先日、オンライン英会話を受講したとき、外国人の講師から質問されたことです。「あなたの国の伝統的な文化について教えてください」という意味だということとは分かりました。が、私はすぐに言葉が出てきませんでした。少し考えてから、地元の南魚沼市のお米を思い出して「ライス」と言いましたが、相手はピンとこない様子で余計に困ってしまいました。そして何より、自分の国の伝統的な文化を聞かれて、すぐに思い浮かぶものがなかったことに、驚きと疑問を感じました。

「関心がないこと」は、伝統文化が失われる一番の原因です。近年、若い世代を中心に伝統文化への関心が低下しています。これは昔と今のライフスタイルの変化により起こっ

たものです。必要とされるものが新しいものや便利なものへと変わり、古いものや不便なものへの関心が低くなつたと考えられます。また、「担い手不足」も原因の一つです。これは、人口減少に加え、传统文化の中心的存在が高齢化しているということが挙げられます。ます。若い世代の後継者が必要ですが、先程も述べたように古いものにはあまり関心がない若者が多いのです。同じように、関心がない人が増えることによつて、「資金不足」にもつながります。需要が減少すること、「必要のないこと」にお金は出せない！という風に資金の確保ができなくなつてしまいます。どれほどすばらしく文化も、価値にリターンがなければ続けていくことは難しいです。実際に、传统文化について様々な意見があるようです。「何年も修行して技術を継承するなんてできない：」「大量生産大量消費の現代には見合っていないんじゃないか」とい

った声が上がっています。反対に、「伝統文化を理解すること、その文化に誇りが持てる」、「住民の交流や協力ができる」、「社会を豊かにできる」など伝統文化は大切だという意見もあります。

伝統文化を守り続けていくためには、一人一人の意識がとても重要です。自分で地域について調べることや、それを周りに伝えていくことで、守られる伝統文化もあります。そうして今まで守られ続けてきた文化は、日本を美しい国と特徴づけてくれています。

小中学校や市町村などでは、地元の伝統文化を学ぶ授業や、それを活かした観光・イベントを行っているようです。若者たちに伝統文化の魅力を伝え、関心を高めようとたくさんの人が取り組んでいます。失われつつある伝統文化を守るには、「まずは地元から」です。

私も、南魚沼市の伝統文化を調べていくうちに「越後上布」に目を奪われました。透け

るような薄さ、軽さ。そしてその美しさから重要無形文化材に指定されています。一二〇〇年の歴史を持つ、古くからの伝統文化といえます。そうして織られた「越後上布」の仕上げとして、真っ白な雪の上に広げる「雪ざらし」と呼ばれる工程があります。雪にさらすことによって汚れやシミを落とし、柄をより鮮明に浮き立たせます。

「朝のあかあかと昇て、玉屑平上に列たる水晶白布に紅英したる景色」

江戸時代、鈴木牧之が豪雪地帯について書いた「北越雪譜」では、朝日を受けて、真っ白に輝く雪の上に越後上布が鮮やかに並ぶ様子は、他のものに例えることができないほど美しい景色だと紹介されています。

今までは私も伝統文化に関心がない若者の中の一人でした。ですが、あの日外国人の講師に言われた質問にも、今なら答えることができます。

「Tell me about the traditional culture of your country.」

あなたは答えることができますか？